

News Release

2024年12月12日

この資料は BASF 本社(ドイツ)が 2024 年 11 月 21 日に発表した英語のプレスリリースを BASF ジャパンが日本語に翻訳・編集したものです。

BASF の新しいバイオポリマーグレードを使用した、初のランニングシューズ用ミッドソール

- 高い性能とサステナビリティを両立させた、ウルトラランニングブランド Mount to Coast の革新的なミッドソール
- バイオマスバランス ecoflex®(エコフレックス)が、再生可能な原料の利用拡大においてフットウェア業界をサポート
- Mount to Coast と BASF がスポーツシューズ用バイオポリマーの可能性を探る戦略的協力関係を締結

ウルトラランニングと長距離用シューズのスペシャリストである Mount to Coast (本社:中国 香港)と BASF(本社:ドイツ ルートヴィヒスハーフェン)はこのたび、ランナーのための高性能かつ持続可能なソリューションを探求する戦略的パートナーシップを締結しました。革新的なミッドソールである CircleCELL™は、今回の提携が生み出した初のフットウェア技術です。BASF の新しいバイオマスバランス ecoflex®(以下、ecoflex® BMB)をベースにしたこの新しいミッドソールは、パフォーマンスランニングシューズに広く使用されているポリエーテルブロックアミド(PEBA)製のミッドソールと同等のエネルギーリターンを示す一方で、90%もの耐久性向上を実現しています。ecoflex® BMB では、製造工程の初期段階で化石由来の原料を再生可能な原料に置き換えています。この再生可能な原料は有機廃棄物や残渣バイオマスに由来し、REDcert² および ISCC PLUS[1]に従って認証されたマスバランス・アプローチによって ecoflex®に割り当てられます。このように、バイオマスバランスの ecoflex®は、

パフォーマンスシューズが必要とする特性、とりわけ、耐久性を維持しながら、CircleCELL™ミッドソールの発泡を行う独自のプロセスにおいて再生可能な原料の使用量を増やすことで、Mount to Coast をサポートしています。BASF の社内テストでは、ecoflex® BMB は密度と反発性において他のミッドソール素材よりも優れていることが示されています。

Mount to Coast の製品責任者であるイエティ・ザン氏は、次のように述べています。「私たちは、ウルトラランナーが必要とする固有のパフォーマンスを損なうことなく、持続可能な材料と革新的なプロセスでシューズを作ることに取り組んでいます。耐久性とサステナビリティを両立させる方法を模索するなかで、BASF は私たちの製品開発チームをサポートしてくれる重要なパートナーです。他の業界で成熟した技術をフットウェア業界のような新しい領域に導入するという、BASF の創造性は私たちの意欲をかき立てるものであり、ランニング業界に新しいパフォーマンスやソリューションを提供するという私たちの目標とも合致しています。これまでバイオポリマーを発展させてきた世界的に有名な企業との協力関係を継続できることを大変うれしく思います。」

BASF のバイオポリマー部門、グローバルビジネスの責任者であるマルセル・フィリップ・バースは、次のように述べています。「1998 年にプラスチック市場に投入されて以来、ecoflex®は一貫した高い品質と性能、そして顧客製品をサステナブルに導くことで、さまざまな業界のお客様に親しまれ、高い信頼を得てきました。ですから、サーキュラリティや再生可能資源に関する BASF のノウハウを新たな応用分野に提供することで、当社のバイオポリマーを使った新たなアプリケーションをお客様に考えていただけることをうれしく思います。私たちは、Mount to Coast とともにフットウェア業界において、この道をさらに探求していくことを楽しみにしています。私たちの現場でのアプリケーションサポートと、実績があり、常に改良し続けてきた、世界的に入手可能なフットウェア材料に頼ってもらいたいと思います。」

ecoflex® BMB は、BASF の先駆的なフットウェアソリューションに完璧に適合する材料であり、より軽量で履き心地が良く、耐久性に優れたシューズをコスト効率よく生み出すためのバリューチェーン全体に対して貢献しています。

バイオマスバランス・アプローチ

バイオマスバランス・アプローチでは、製造工程の最初の段階で、化石資源を廃棄物由来の再生可能資源に置き換えます。そして、再生可能資源量は、第三者認証の方法によって、製造工程の最終段階で特定の製品に割り当てられます。この独立した第三者認証により、BASF は REDcert² および ISCC PLUS の要件に基づき、顧客が購入するバイオマスバランス製品のために必要な量の化石資源を再生可能資源に置き換えていることが確認されています。

詳細情報:

<https://www.ecoflex.basf.com/>

<https://www.basf.com/massbalance>

<https://www.footwear.basf.com/>

[1] REDcert² および ISCC PLUS は、化学工業における持続可能なバイオマスの資源利用のための持続可能性認証スキームになります。これらの認証スキームに基づく認証は、使用されるバイオマスが持続可能であり、必要な量が生産システムに投入されていることを確認するものです。また、持続可能なバイオマスが、対応する販売製品に正しく割り当てられていることも確認します。認証は、独立した監査員による現地監査に基づき付与されます。

※このプレスリリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

■BASF について

BASF (ビーエーエスエフ) は、ドイツ ルートヴィヒスハーフェンに本社を置く総合化学会社です。持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、経済的な成功とともに環境保護と社会的責任を追究しています。また、全世界で約 112,000 人の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献しています。ポートフォリオは、6 つの事業セグメント(ケミカル、マテリアル、インダストリアル・ソリューション、サーフェステクノロジー、ニュートリション&ケア、アグロソリューション)から成ります。2023 年の BASF の売上高は 689 億ユーロでした。BASF 株式はフランクフルト証券取引所(BAS)に上場しているほか、米国預託証券(BASFY)として取引されています。

BASF の詳しい情報は、<https://www.basf.com> をご覧ください。

■BASF のパフォーマンスマテリアルズ事業本部について

BASF のパフォーマンスマテリアルズ事業本部は、プラスチックに求められる持続可能性への変革の最前線にいます。BASF の製品は、トランスポーター、消費財、インダストリアルアプリケーション、建築・建設という 4 つの主要産業分野にイノベーションをもたらすため、世界中のお客様と共同で開発をすすめています。私たちの研究開発は、プラスチックに関するすべての工程(プラスチックジャーニー)である MAKE(製造)、USE(使用)、RECYCLE(リサイクル)に焦点を当てています。製造段階では、製品の設計から原材料の選択、製造工程に至るまで、プラスチックの製造方法を改善します。使用段階では、軽量性、堅牢性、耐熱性といったプラスチックの強みを強化します。製品のライフサイクルの終段には、循環型経済を実現するためにどのようにプラスチックジャーニーを終了させるかを検討する「リサイクル」段階があります。2023 年、パフォーマンスマテリアルズ部門の世界売上高は 72 億ユーロを達成しました。詳しい情報は、

<https://www.performance-materials.basf.com> をご覧ください。